

令和5年度（2023年度）道農業予算のポイント

1 農政関係予算額

【一般会計】

(単位 百万円)

区 分	令和4年度 (2022年度) 2定現計A	令和5年度 (2023年度) 2定現計B	前年度比較	
			増減額 (B-A)	比率 (B/A)
農 政 費	125,959	129,816	3,857	103.1%
道 一 般 会 計 予 算	3,262,188	3,151,679	△ 110,509	96.6%
農 政 費 の 割 合	3.9%	4.1%		

○ 増減の主なもの

	R4(2022)年度	R5(2023)年	(増減)
[増額]			
家畜伝染病予防費	8.3 億円	→ 26.2 億円	17.9 億円
麦・大豆生産技術向上事業費	6.9 億円	→ 49.2 億円	42.3 億円
中山間地域等直接支払事業費	58.3 億円	→ 59.6 億円	1.3 億円
[減額]			
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費	24.9 億円	→ 17.1 億円	△ 7.8 億円
強い農業づくり事業費	33.1 億円	→ 19.7 億円	△ 13.4 億円
持続的畑作生産体系確立緊急対策事業費	31.8 億円	→ 24.4 億円	△ 7.4 億円

【特別会計】

(単位 百万円)

区 分	令和4年度 (2022年度) 2定現計A	令和5年度 (2023年度) 2定現計B	前年度比較	
			増減額 (B-A)	比率 (B/A)
就農支援資金貸付事業等特別会計	528	460	△ 68	87.1%
地方競馬特別会計	46,860	49,127	2,267	104.8%

2 予算編成の基本的な考え方

本道農業・農村は、担い手の減少や高齢化の進行、グローバル化の進展、ウクライナ侵攻を背景とした飼料や肥料の高騰など、様々な課題に直面している。さらには、カーボンニュートラルやDX（デジタルトランスフォーメーション）といった産業・社会の大きな構造変化への対応が求められている。こうした中、我が国最大の食料供給地域としての役割や地域経済・雇用を支える基幹産業としての役割などを引き続き果たし、持続的に発展していくため、関係機関・団体と一体となって、「第6期北海道農業・農村振興推進計画」に沿った各般の施策を着実に推進していく。

(振興計画に沿った施策の方向性)

- ・「持続可能で生産性が高い農業・農村の確立」に向け、ほ場の大区画化など生産基盤の整備、「ゼロカーボン北海道」や「みどりの食料システム戦略」を踏まえた有機農業の産地づくり、温室効果ガスの排出削減した農産物の需要拡大、スマート農業の推進、麦・大豆の生産性向上や酪農経営の体質強化に向けた牛群改良の加速化などに取り組む。
- ・「国内外の需要を取り込む農業・農村の確立」に向け、北海道米の消費拡大や道産日本酒のブランド力強化、北海道和牛のブランドの確立、畜産物輸出コンソーシアムによる輸出拡大、6次産業化をはじめとする農山漁村発のイノベーションの推進などに取り組む。
- ・「多様な人材が活躍する農業・農村の確立」に向け、就農前の研修段階や就農直後の経営確立に向けた支援、農業経営・企業連携サポート室による企業の農業参入と定着の推進、外国人材を含めた多様な雇用人材の受入推進などに取り組む。
- ・「道民理解に支えられる農業・農村の確立」に向け、食育の推進や食品ロス対策の推進、農村ツーリズムの受入体制の強化、農業・農村に対する道民の理解を深めるコンセンサスづくりなどに取り組む。
- ・ホッカイドウ競馬については、第3期北海道競馬推進プランに基づき、老朽化した競馬場基幹施設の計画的な整備に向けた厩舎エリア工事の着手、強い馬づくりや魅力ある番組づくりなどを進め、安定した競馬事業の運営に取り組む。

3 重点政策課題と主な事業

- (1) 持続可能で生産性が高い農業・農村の確立 予算額 (うち道費)
- 次世代農業促進生産基盤整備特別対策事業費 814,000千円(814,000千円)
・持続可能な本道農業の確立のため、スマート農業技術の導入を容易とする大区画化など、農業者が必要な農業生産基盤の整備に積極的に取り組めるよう、道と市町村が連携し農家負担を軽減する。
 - 地域計画策定推進緊急対策事業費 33,546千円(0千円)
・地域農業の将来の在り方や、目標とする農地利用の姿などを明確化した地域計画の策定に向けた取組を支援する。
 - 農地中間管理機構事業費【拡充】 249,316千円(37,796千円)
・農地中間管理機構による農地の集約化等を加速するため、機構の事業運営を補助し、機構による遊休農地の解消等の取組を支援する。
 - スマート農業総合推進事業費 30,762千円(5,751千円)
・生産現場への着実なスマート農業技術の導入と全道への普及拡大を図るため、実証成果などの情報提供、専門知識を有する地域人材の育成、地域の営農体系に適した先端技術の導入を支援する。
 - 米粉利用拡大対策推進事業費【新規】 4,500千円(0千円)
・水稲生産力の維持・確保に向け、輸入小麦からの代替が期待されている米粉の利用拡大を図るため、消費者や実需者に向けたPRイベントを開催する。
 - 麦・大豆生産技術向上事業費 4,922,782千円(0千円)
・産地と実需が連携して行う麦・合図の国産化を推進するため、ブロックローテーションや営農技術の導入等による生産性向上や増産を支援する。
 - 産地生産基盤パワーアップ事業費 3,966,767千円(309千円)
・地域の戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、農業者等が行う高性能な機械・施設の導入や栽培体系の転換等に対して、総合的に支援する。
 - 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費 1,707,213千円(608千円)
・畜産経営の収益力の向上や飼料生産組織の経営高度化、畜産環境問題への対応など、畜産クラスター計画に基づく地域の中心的な経営体等が行う施設整備等を支援する。
 - 経営体質強化に向けた牛群改良加速化事業費【新規】 38,238千円(38,238千円)
・酪農情勢の変化に対応し、経営体質の強化や生産基盤の充実を図るため、ゲノミック評価技術を活用した乳牛改良の加速化を推進する。
 - みどりの食料システム戦略推進総合対策事業費 138,000千円(0千円)
・「ゼロカーボン北海道」の実現に貢献しながら、安全・安心で良質な食料を安定的に生産・供給するため、「みどりの食料システム戦略」に係る道の体制整備とともに、有機農業の産地づくりを支援する。
 - 道産農産物等温室効果ガス削減加速化事業費【新規】 1,773千円(1,773千円)
・本道農産物の生産から流通・消費に至る各段階において、J-クレジットの認証取得促進に向けたモデル実証や温室効果ガスの排出を削減して生産した農産物の需要拡大などの取組を実施する。
 - 脱炭素畜産技術導入推進事業 600千円(0千円)
・牛のゲップに由来するGHG発生を削減する効果が期待できる道産未利用飼料原料の調査を行い、本道におけるカーボンニュートラル等の環境負荷軽減を推進する。
- (2) 国内外の需要を取り込む農業・農村の確立
- 米どころ・酒どころ振興事業費 12,117千円(12,117千円)
・道産日本酒の国内外への販売拡大を図るため、北海道らしい日本酒を造るための酒米の生産振興や、道産日本酒のブランド力強化に向けた取組を総合的に推進する。
 - 北海道和牛ブランド創出推進事業費 720千円(720千円)
・北海道和牛の競争力強化とブランドの確立を図るため、生産者や関係者による検討会議の開催や、北海道独自の特色ある種雄牛の作出を推進する。

- **道産農畜産物輸出総合対策事業費** 1,455,539千円 (25,267千円)
・「北海道食の輸出拡大戦略<第Ⅱ期>」に基づき、道産農畜産物の輸出拡大を促進するため、生産の安定化や輸出支援体制の強化、北海道ブランドの浸透や市場拡大など、総合的な取組を実施する。
- **食肉流通構造高度化・輸出拡大事業費** 1,600千円 (0千円)
・高品質な農畜産物の輸出拡大を図るため、畜産農家・食肉処理施設・食肉流通事業者の3者で組織するコンソーシアムによる食肉処理施設の整備等を支援する。
- **6次産業化ネットワーク活動事業費** 132,322千円 (510千円)
・6次産業化を推進するため、北海道6次産業化サポートセンターを設置・運営するとともに、多様な地域資源を活用して取り組む新商品の開発などの取組を支援する。

(3) 多様な人材が活躍する農業・農村の確立

- **地域農業と企業との連携強化サポート事業費** 2,071千円 (1,412千円)
・企業の参入による農業の担い手の確保と企業の持つ経営ノウハウ等の導入による地域経済の活性化を図るため、企業と地域が連携した参入事例の周知等により、企業の農業参入と定着を推進する。
- **担い手育成総合推進事業費** 1,819,987千円 (107,699千円)
・次代の本道農業を担う多様な担い手の育成・確保を図るため、後継者はもとより、新規参入者など意欲と能力のある新規就農者の確保などの総合的な対策を実施する。
- **農村・求職者良質雇用マッチングアシスト推進事業** 16,641千円 (3,328千円)
・農業における雇用人材の確保及び雇用者の定着による地域活性化に向け、求職者・雇用先となる法人とのマッチングをコーディネートする取組などにより、雇用就農機会の確保を図る。
- **農業次世代人材投資事業費** 1,740,862千円 (97,875千円)
・就農に向けた研修資金の交付、就農直後の経営確立に資する資金の交付や機械・施設等導入への支援、農業研修や就農相談の充実への支援をする。
- **農業経営者総合サポート事業費** 76,430千円 (0千円)
・農業経営の法人化や経営継承など多様な課題の解決をサポートするため、相談窓口を設置し、専門家の派遣による指導・助言を行うほか、法人化し雇用環境を整備する取組に対し助成する。

(4) 道民の理解に支えられる農業・農村の確立

- **どさんこ食育推進事業費** 40,045千円 (1,280千円)
・第4次北海道食育推進計画に基づき、地域のネットワークを強化し、道民運動として食育を推進するとともに、「どさんこ愛食食べきり運動」を全道的に展開し、食品ロスの削減に取り組む。
- **道産農産物等需要喚起対策事業費【新規】** 5,960千円 (0千円)
・近年、栽培が増えているにんにく、さつまいも及びらっかせいの付加価値向上と更なる需要の拡大を図るため、飲食店等の製造事業者と生産者とのマッチングを進め、新たなメニュー開発等に取り組む。
- **農業・農村コンセンサス形成総合推進事業費** 17,188千円 (17,188千円)
・農業・農村が果たしている役割等の道民理解を促進するため、農業者等が行う道民の理解を深めるための取組や農業・農村ふれあいネットワークが展開するコンセンサスづくりの活動を実施する。
- **農村ツーリズム再生事業費【新規】** 3,584千円 (2,133千円)
・新型コロナウイルス感染症のまん延により来訪者が減少するなどの影響を受けている、受入団体への情報提供や受入農家等への研修会の開催など、受入体制の強化に向けた取組を推進する。

(5) ホッカイドウ競馬の推進

- **北海道地方競馬特別会計** 49,127,457千円 (0千円)
・「第3期北海道競馬推進プラン」に基づき、老朽化した競馬場基幹施設の計画的な整備に向け厩舎エリアの工事に着手するほか、さらなる顧客の拡大に向け、引き続き強い馬づくりと魅力ある番組づくりを進めるとともに、積極的な情報発信を通じ、安定した競馬事業の運営に取り組む。